

授業改善書

科目名	企業論
担当者	加藤秀雄

授業の概要

企業論では、現代の経済社会の発展をリードしている企業について、その組織的特性と企業行動、そして組織の永続的発展に向けてのガバナンス機構、社会的貢献、さらにはグローバル時代の中での世界戦略を見据えた事業展開の変化などを、具体的な事例企業を取りあげながら講義した。

授業の問題点

本年度の講義が、本学での最初であったこともあり、講義内容を受講生にどのように伝えるかに戸惑いがあった。このため、各回の講義内容において、わかりやすさにバラツキがあったように思える。また、テーマごとに、具体的な企業の事例を持って説明することに心がけたが十分でなかったように思える。

授業改善の課題・方策

講義の改善については、大きく二つ考えている。一つは、先に問題点としてあげた講義内容のわかりやすさを考慮した企業の具体的な事例を深めることがあげられる。事例として取り上げる企業は、受講生が関心を持てる企業だけでなく、企業の活動が多様であることを理解してもらうために、多様な業種を取り上げていきたいと考えている。二つは、授業アンケートの結果を踏まえた授業改善である。たとえば、授業の学習態度で「授業外学習」「質問や発言」に対する評価が低いことについては、事前の予習を促す工夫、質問等についてはそうした時間を設けることを考えていきたい。また、自由意見に記されていた「質問の機会がほしい」は、そうしたことを反映した意見であるように思える。

その他